

(5) 展 開 「和歌の解釈ポイントと修辭法を学ぼう」

時	学習過程	生徒の学習活動	教師の指導・支援	評価規準
3分導入	1 和歌への意識付け	○自分たちが知っている和歌にどのようなものがあるか話し合う	・発言が少ない場合、中学校の教科書や百人一首などから、著名な歌を示す	
40分展開	2 和歌の解釈ポイントの理解 3 和歌の修辭法を学ぶ (枕詞) 4 和歌の修辭法を学ぶ (序詞) 5 和歌の修辭法を学ぶ (掛詞)	○和歌の難しいところを考える ○和歌の解釈ポイントを知る ○枕詞のポイントを知る ・枕詞は決まり文句 ・具体例で確認しよう ○序詞のポイントを知る ・序詞って知ってるかな ・和歌の中でどんな働きをしているの ・2つのイメージをつなげてみよう ○掛詞のポイントを知る ・掛かっているのは何かな ・具体例で確認しよう ・イメージをふくらませよう	・イメージを持ちにくい点が原因であることを指摘する ・和歌の解釈ポイント (1)句読点を考える (2)詞書を見る ① ・枕詞は、簡潔に説明する。 ・枕詞について (1)問題演習2題 ② ・序詞は、生徒の理解に応じて時間をかけて説明する ・序詞について (1)序詞とは何か (2)3つの接合パターン (3)イメージをつなげる ③ ・掛詞は、問題演習を中心に扱う ・掛詞について (1)問題演習1題 (2)イメージをふくらませる ④	【関・意・態】 想像力を働かせて和歌を読もうとしている [観察]
7分まとめ	6 学習のまとめ	○和歌の解釈ポイントと、本時で扱った修辭法を、ワークシートで確認する	・古典の入門期であるため、修辭法については概要にとどめる ・次回は、和歌の鑑賞の仕方について学ぶことを予告する	【知識・理解】 枕詞、序詞、掛詞の知識や表現効果を理解している [ワークシート]

: I T教材活用場面

